

平成30年度

岡山市上建部財産区費特別会計
歳入歳出決算審査意見書

岡山市監査委員

岡 監 第 1 2 2 号
令和元年8月22日

岡山市上建部財産区管理者
岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山市監査委員	岸	堅	士
同	土 居	幸 徳	
同	赤 木	一 雄	
同	高 橋	雄 大	

**平成30年度岡山市上建部財産区費特別会計
歳入歳出決算審査意見について**

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度岡山市上建部財産区費特別会計の歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査しました。その結果、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審 査 の 対 象	1
第2	審 査 の 実 施 場 所 及 び 期 間	1
第3	審 査 の 着 眼 点 及 び 方 法	1
第4	審 査 の 結 果	1
1	決 算 の 概 要	2
(1)	決 算 規 模	2
(2)	決 算 収 支	2
(3)	歳 入	3
(4)	歳 出	4
2	財 産 に 関 す る 調 書	5
	資 料	7

- (注) 1 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中の比率、各表中の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
- 「0.0」・・・該当数値はあるが、単位未満のもの
- 「－」・・・算出不能、該当数値のないもの
- 「ほぼ皆増」・・・増加率が10,000%以上のもの

平成30年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成30年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算

第2 審査の実施場所及び期間

監査委員室

令和元年6月10日から

令和元年8月22日まで

第3 審査の着眼点及び方法

審査に当たっては、岡山市監査基準に準拠し、平成30年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を関係諸帳簿及び関係課から提出された決算資料と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、必要に応じ関係者からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、予算の執行は適正であると認めた。

なお、決算状況は、次のとおりである。

1 決算の概要

(1) 決算規模

本年度の予算現額は3,825万円で、これに対する決算額は、次のとおりである。（資料第1，2参照）

歳入総額	3,754万円	（予算現額に対する執行率 98.1%）
歳出総額	3,627万円	（予算現額に対する執行率 94.8%）
歳入歳出差引額	126万円	

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

（単位：円，%）

年度	歳入			歳出		
	決算額	対前年度増減(△)額	前年度比	決算額	対前年度増減(△)額	前年度比
26	18,480,710	7,172,740	163.4	12,931,192	4,941,729	161.9
27	60,608,740	42,128,030	328.0	31,796,794	18,865,602	245.9
28	42,261,808	△18,346,932	69.7	34,805,181	3,008,387	109.5
29	26,903,373	△15,358,435	63.7	26,125,898	△8,679,283	75.1
30	37,543,057	10,639,684	139.5	36,273,870	10,147,972	138.8

(2) 決算収支

本年度の決算収支の状況は次表のとおりで、総額では、歳入歳出差引額（形式収支）及び実質収支はともに126万円となっている。（資料第2参照）

決算収支の推移

（単位：円）

年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 C (A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源D	実質収支 E (C-D)	単年度収支 E-前年度E
26	18,480,710	12,931,192	5,549,518	0	5,549,518	2,231,011
27	60,608,740	31,796,794	28,811,946	0	28,811,946	23,262,428
28	42,261,808	34,805,181	7,456,627	0	7,456,627	△21,355,319
29	26,903,373	26,125,898	777,475	0	777,475	△6,679,152
30	37,543,057	36,273,870	1,269,187	0	1,269,187	491,712

(3) 歳入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

特別会計歳入決算状況

(単位：円，%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 C/A	収納率 C/B	不納欠損額	収入未済額
30年度	38,257,000	37,543,057	37,543,057	98.1	100	0	0
29年度	28,113,000	26,903,373	26,903,373	95.7	100	0	0
差引増減 (△)	10,144,000	10,639,684	10,639,684			0	0
増減率	36.1	39.5	39.5			—	—

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。(資料第3参照)

款別決算状況

(単位：円，%)

款	30年度						29年度 収入済額 D	増、減(△) C-D
	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 C/A	収納率 C/B	前年度比		
財産収入	18,846,000	18,296,076	18,296,076	97.1	100	335.3	5,456,839	12,839,237
繰入金	16,412,000	16,411,048	16,411,048	100.0	100	170.1	9,646,114	6,764,934
繰越金	860,000	777,475	777,475	90.4	100	10.4	7,456,627	△6,679,152
諸収入	2,139,000	2,058,458	2,058,458	96.2	100	47.4	4,343,793	△2,285,335
計	38,257,000	37,543,057	37,543,057	98.1	100	139.5	26,903,373	10,639,684

収入済額は3,754万円で、前年度に比べ1,063万円(39.5%)の増加となっている。

これは、繰越金が667万円(89.6%)、諸収入が228万円(52.6%)それぞれ減少したが、財産収入が1,283万円(235.3%)、繰入金が676万円(70.1%)それぞれ増加したためである。

また、予算現額に対する執行率は98.1%、調定額に対する収納率は100%となっている。

(4) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

特別会計歳出決算状況

(単位：円，%)

区 分	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	執行率 B/A	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
30 年 度	38,257,000	36,273,870	94.8	0	1,983,130
29 年 度	28,113,000	26,125,898	92.9	0	1,987,102
差引増減(△)	10,144,000	10,147,972		0	△3,972
増 減 率	36.1	38.8		—	△0.2

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。(資料第3参照)

款 別 決 算 状 況

(単位：円，%)

款	30 年 度						29年度 支出済額 C	増, 減(△) B - C
	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A	前年度比	翌年度 繰越額	不 用 額		
議会費	1,588,000	1,322,645	83.3	102.1	0	265,355	1,294,935	27,710
総務費	22,795,000	21,954,144	96.3	121.1	0	840,856	18,122,994	3,831,150
農林水 産業費	13,874,000	12,997,081	93.7	193.8	0	876,919	6,707,969	6,289,112
計	38,257,000	36,273,870	94.8	138.8	0	1,983,130	26,125,898	10,147,972

支出済額は3,627万円で、前年度に比べ1,014万円(38.8%)の増加となっている。これは、主に農林水産業費が628万円(93.8%)、総務費が383万円(21.1%)それぞれ増加したためである。

また、予算現額に対する執行率は94.8%で、不用額は198万円である。

2 財産に関する調書

平成30年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

ア 土地

本年度末における土地の面積は2,496,853.46㎡で、前年度末より4,048㎡減少している。

イ 山林

本年度末における山林の所有面積は2,436,242.09㎡で、前年度末より4,048㎡減少している。

ウ 出資による権利

本年度末における出資による権利は40万円で、本年度中の異動はない。

(2) 基金

本年度末における基金は管理費積立基金1億1,323万円で、前年度末より467万円増加している。